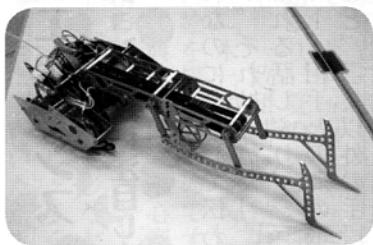


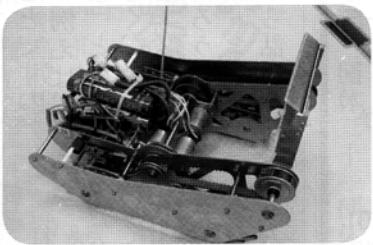
八月二十七、二十八日の兩日、学生五名とともに神奈川県川崎市で開催されたかわさきロボット競技大会に参加してきました。この大会は若者のものづくりに関する理解と関心を深めることを目的に、川崎市産業振興財団が主催する競技大会で、今年で十八回目の開催になります。今年は大学工学部学生を中心にして二百四十四台のマシンがエントリーし、最強の一台を目指して二日間のアツいバトルが行われました。

筆者は今年で三回目の参加となります。今年は写真に示す二台のロボットエンタリーブしました。いずれのマシンも昨年までの業生が設計したものを、月に入り新たに参加学生を募り、放課後を使って製作、改良したもののです。

結果は左のマシンは予選一回戦で敗退しましたが、敗者復活戦まで勝ち進むことができました(三勝二敗)。決勝トーナメント進出まで



敗者復活4回戦進出  
(2勝2敗)



敗者復活5回戦進出  
(3勝2敗)

あと一勝でしたので悔しさもひとしおです。

参加した学生は大会の熱気に触れ刺激を受けてきたようですが、苦労した甲斐があつたようです。

# 新潟職能短大通信

「かわさきロボット競技大会」へ参加しました

## ◆大倉翁と新発田(二十三)

川瀬勝一郎

### —新発田への帰郷—

明治三十四年初めて帰郷、翁は幕末維新の動乱の

時期に、実業界で活躍、超多忙の生活で、明治三十四年(一九〇二)四十八年ぶりに帰郷したのが初めての

帰郷であった。この帰郷は翁が北海道を視察、帰途新潟で開催の全国商業会議所連合会に出席のため新潟をまわったが、この時に新発田に立寄った

もので、新発田では大歓迎、地元有志主催で大遊園会を開催している。

大正五年(一九一六)の帰郷は郷里の有志と鶴友会によって建立された翁の寿像の除幕式に出席のためであつた。

大正五年(一九一六)の除幕式は大正五年十月十五日。建立の場所は、諏訪神社に隣接する翁が町に寄付した公園内である。武石弘三郎の製作による翁の寿像は、孫の鶴吉によつて除幕された。今回は下町の大倉邸跡を

大正九年(一九二〇)の帰郷は、大倉製糸工場の開業式に出席のためである。四月三十日に上野駅発で磐越線を経由、翌朝新発田駅へ、駅頭で町長、町会議員をはじめ近郷の人数千人の出迎えを受けている。

五月二日の午前十一時から開業式、翁の挨拶、県知事の祝辞などがあり、続いで祝宴で午後二時に散会している。夕刻から翁招待の祝宴や職工の慰安なども行われた。

大正十二年(一九二三)の帰郷は、新発田で開催された大倉製糸工場の重役会に出席のためである。翁は関東各地の新潟県人会の会員數十名と加治川堤の桜花を観賞した。「やはり日本を一大」と嘆賞したという。



**IDS STUDIO PHOTON JAPAN**  
キッズフォトジャパンアート賞  
受賞作品「ウォー！」  
山口ひなみちゃん・8才  
カメラマン Ryuta  
【サンシャン】  
イメージングサービス&総合映像写真館  
★TEL:0120-753-393  
TEL:0254-22-3617  
ホームページ  
コラボ撮影会  
コラボ撮影会

大倉喜八郎の会 講演会  
**S y o u N i n D o o**  
**商 人 道**

—「心学先哲叢集」から学ぶ—

講師 加藤 敦子氏

入場  
無料

日時 平成23年11月20日(日)

開演/午後1:30~3:30

会場 新発田市生涯学習センター

演題 「大倉喜八郎の商人道の原点」

講師 東京経済大学 村上 勝彦氏

■主催/大倉喜八郎の会 ■お問い合わせ/新発田商工会議所(事務局/0254-22-2757)

新発田商工会議所で経営相談を受けられている方は  
**マル経資金(小規模事業者  
経営改善資金)**  
返済期間/運転資金7年以内(うち据置1年内)  
設備資金10年以内(うち据置2年内)  
貸付利率/固定1.85%(平成23年10月13日現在)  
担保・保証人/不要

1,500万円以内  
(ご利用には一定の要件がございます)